



株式会社セキドとの戦略的な業務提携について

平成 24 年 1 月 27 日
株式会社ストリーム

株式会社ストリーム(本社：東京都港区、代表取締役：劉 海濤、東証マザーズ：3071、以下、ストリーム)と株式会社セキド(東証 2 部上場、本社：東京都新宿区、代表取締役会長 CEO：関戸正実、以下「セキド」)は、両社間で業務的な相互補完体制の構築を目指し、戦略的な業務提携を行うことで基本的に合意し、本日、業務提携契約書に調印しましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

1、業務提携の理由

国内ネット通販のストリームと、ブランド品販売の大手であるセキド(日本全国に 23 店舗のブランド品セレクトショップを小売展開)が、EC システムと物流の分野で、今後、戦略的かつ効率的な協業を深めることにより、両社の売上増大と利益体質の強化を図ります。

2、業務提携の主な合意内容

(1) ファッションブランド商品の販売強化

セキドが強みを持つファッションブランド品マーチャндаイジングの提供を受けることで、運営する通販サイトでの販売強化を行う。

ECカレント	http://www.ec-current.com/
イーベスト	http://www.ebest.co.jp/
特価COM	http://www.tokka.com/

(2) ECサイトの共同運営

両社は、セキドのファッションブランド商品の EC サイトを共同運営する。
ストリームが持つ EC システムを導入し、物流を含む効率的な共同運営を行うことで、セキド EC 部門の売上増大と、利益体質の強化を図る。

(3) 物流センターの統合について

ファッションブランド商品の物流センターをストリームの物流センターに統合する。
両社物流業務の効率化とコスト削減を図ると共に、セキドの在庫を活用することでブランド品の即日出荷体制を構築する。

3、今後の見通し

今回の提携による業績への影響につきましては、今後、業務提携の進捗度に応じて、業績予想に織り込んで参ります。

4、株式会社セキドの概要

昭和 31 年創業、平成 12 年東証 2 部上場、関戸正実代表取締役会長 CEO。
家電量販店 14 店舗とファッションブランドショップ 23 店舗、計 37 店舗を全国展開。
年商 218 億円(平成 23 年 2 月期)。特に、新品のファッションブランド並行輸入品販売専業として唯一の上場企業。
昨年、5 月に銀座 2 丁目に旗艦店「GINZA Love Love」をオープン。